

2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年 8月10日

上場会社名 アイテル株式会社 上場取引所 東
コード番号 444A URL http://www5.aitel.co.jp/
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 永田 尚
問合せ先責任者 （役職名） 常務取締役 （氏名） 下高原 和典 TEL 06 (6151) 3601
中間発行情報提出予定日 2026年 9月30日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期中間期の業績（2026年 1月 1日～2026年 6月30日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	1,089	△17.1	△11	—	△11	—	△7	—
2025年12月期中間期	1,314	—	98	—	97	—	73	—

（注）2024年12月期中間期は中間財務諸表を作成していないため、2025年12月期中間期の売上高、営業利益、経常利益、中間純利益の対前年中間期増減率は記載しておりません。

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	△26.93	—
2025年12月期中間期	265.47	—

（注） 1. 2026年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため、記載しておりません。
2. 2025年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、2025年6月30日において当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	1,405	564	40.1
2025年12月期	1,299	597	46.0

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 564百万円 2025年12月期 597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	0.00	94.00	94.00
2026年12月期	0.00		
2026年12月期（予想）		—	—

（注） 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
2. 現時点では、2026年12月期の期末配当に関する配当予想は未定であります。

3. 2026年12月期の業績予想（2026年 1月 1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,437	△0.2	26	△73.0	21	△75.7	12	△85.0	46.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期中間期	310,000株	2025年12月期	310,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	33,000株	2025年12月期	33,000株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年12月期中間期	277,000株	2025年12月期中間期	277,000株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載した予想数値その他の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの状況	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国の経済は、緩やかな回復基調にあります。一方、景気の回復は半導体分野などの特定分野に偏っており、その他の分野については、日銀の利上げやインフレの継続により停滞しております。またホルムズ海峡の封鎖等に伴うサプライチェーンの混乱により世界的な景気後退リスクは依然として残っており、日本経済への影響も懸念されます。

こうした環境の中で、新車業界及び中古車業界におきましては、国産車及び輸入車の販売台数は堅調であるものの、外国メーカー製の輸入車販売は、インフレの継続や円安の影響で販売が落ち込みました。2025年1月から6月及び2026年1月から6月までの輸入及び国産乗用車新車及び中古車販売台数は以下の通りとなります。

乗用車販売台数推移(台)	2025年 1～6月	2026年 1～6月
輸入車(新車)	171,426	177,703
内、外国メーカー輸入車(新車)	121,243	116,977
輸入車(中古車)	265,373	270,554
国産車(新車)	1,154,108	1,157,955
国産車(中古車)	1,347,621	1,332,593
国産車+輸入車(新車)	1,325,534	1,335,658
国産車+輸入車(中古車)	1,612,994	1,603,147

（出典：日本自動車輸入組合統計データ・一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計データ）

当社におきましては、このような状況のなか、「満足の得られる市場を創造する Create the satisfying market」という社是に基づき、今まで市場になかった「ならでは商品」を世に出すことで新たなマーケットの創造に努めてまいりました。

純正Plus upビジネスにおいては、ディーラー向け販売、Webサイト経由販売ともに、売上高は前年同期を下回りました。ディーラー向け販売は、前期下期より「Car Passenger」等の新商品の拡販に注力しましたが、外国メーカー製輸入車の販売減による既存商品の落ち込みに加え、新商品の販売も想定を下回る結果となりました。また、Webサイト経由販売は、当期より「後付けイージークローザーキット」等の新商品販売を開始したものの、前期に好調であった「カーセキュリティ関連商品」の反動減を補うには至りませんでした。

法人車両ビジネスにおいては、新規案件の獲得に努めたものの、前期における大型案件の反動減により、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当中間会計期間における売上高は1,089百万円（前年同期比17.1%減）、営業損失は11百万円（前年同期は98百万円の営業利益）、経常損失は11百万円（前年同期は97百万円の経常利益）、中間純損失は7百万円（前年同期は73百万円の中間純利益）となりました。

なお、当社はナビ男くん事業の単一セグメントであるため、セグメントの記載を省略しております。

（2）当中間期の財政状態の概況

当中間会計期間末の総資産の残高は、前事業年度末と比べ106百万円増加し、1,405百万円となりました。

（流動資産）

当中間会計期間末の流動資産の残高は、前事業年度末と比べ81百万円増加し、1,197百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加114百万円、商品仕入による前渡金の減少32百万円となります。

（固定資産）

当中間会計期間末の固定資産の残高は、前事業年度末と比べ24百万円増加し、208百万円となりました。主な要因は、賞与引当金の増加による繰延税金資産の増加23百万円となります。

（流動負債）

当中間会計期間末の流動負債の残高は、前事業年度末と比べ339百万円増加し、734百万円となりました。主な要因は、長期借入金から1年内返済予定の長期借入金への振替による1年内返済予定の長期借入金の増加200百万円、短期借入金の増加180百万円、買掛金の減少23百万円となります。

（固定負債）

当中間会計期間末における固定負債の残高は、前事業年度末と比べ200百万円減少し、106百万円となりました。

主な要因は、長期借入金を1年内返済予定の長期借入金に振り替えたことによるものです。

（純資産）

当中間会計期間末の純資産の残高は、前事業年度末と比べ33百万円減少し、564百万円となりました。要因は、配当金の支払26百万円及び中間純損失7百万円の計上です。

（3）当中間期のキャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ114百万円増加し、580百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、40百万円の支出（前年同期は206百万円の収入）となりました。主な要因は、中間純損失の計上、消費税等の納付に伴う未払消費税等の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、1百万円の収入（前年同期は296百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出、敷金及び保証金の返還による収入によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、153百万円の収入（前年同期は180百万円の収入）となりました。主な要因は、短期借入金の純増加額によるものであります。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の業績予想につきましては、2026年2月13日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成されており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

今後、経営環境等の変化により業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示してまいります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

（1）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年12月31日)	当中間会計期間 (2026年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	765,959	880,599
売掛金	163,662	160,984
商品	119,702	129,937
貯蔵品	1,208	1,469
前渡金	48,004	15,753
前払費用	4,122	5,232
未収入金	11,181	3,266
その他	1,805	324
流動資産合計	1,115,647	1,197,567
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	74,664	71,840
構築物（純額）	1,816	1,733
車両運搬具（純額）	9,560	13,580
工具、器具及び備品（純額）	3,980	4,952
土地	148	148
有形固定資産合計	90,169	92,254
投資その他の資産		
投資有価証券	10,000	10,000
入会金	5,175	5,175
差入保証金	22,760	21,764
長期前払費用	1,038	656
繰延税金資産	54,993	78,519
投資その他の資産合計	93,967	116,114
固定資産合計	184,137	208,369
資産合計	1,299,785	1,405,936

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年12月31日)	当中間会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	81,530	57,866
短期借入金	－	180,000
1年内返済予定の長期借入金	204	200,204
未払費用	107,014	89,659
未払法人税等	34,666	19,108
未払消費税等	35,609	5,173
契約負債	92,560	88,728
預り金	9,298	4,437
賞与引当金	34,387	89,764
その他	40	40
流動負債合計	395,310	734,982
固定負債		
長期借入金	300,272	100,153
役員退職慰労引当金	1,402	1,465
その他	5,055	5,088
固定負債合計	306,729	106,706
負債合計	702,040	841,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,500	15,500
資本剰余金		
その他資本剰余金	10,571	10,571
資本剰余金計	10,571	10,571
利益剰余金		
利益準備金	3,956	3,956
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	572,603	539,107
利益剰余金計	576,559	543,063
自己株式	△4,886	△4,886
株主資本合計	597,744	564,248
純資産合計	597,744	564,248
負債純資産合計	1,299,785	1,405,936

（２）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）	当中間会計期間 （自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）
売上高	1,314,058	1,089,216
売上原価	759,104	644,635
売上総利益	554,954	444,581
販売費及び一般管理費	456,362	455,912
営業利益又は営業損失（△）	98,592	△11,331
営業外収益		
受取利息	226	1,444
有価証券利息	15	15
受取保険料	158	-
その他	605	430
営業外収益合計	1,006	1,890
営業外費用		
支払利息	2,115	2,110
社債利息	5	-
その他	72	129
営業外費用合計	2,194	2,240
経常利益又は経常損失（△）	97,404	△11,680
特別利益		
固定資産売却益	12,798	347
特別利益合計	12,798	347
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税引前中間純利益又は税引前中間純損失（△）	110,202	△11,332
法人税、住民税及び事業税	63,797	19,651
法人税等調整額	△27,129	△23,525
法人税等合計	36,668	△3,874
中間純利益又は中間純損失（△）	73,534	△7,458

（３）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）	当中間会計期間 （自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益又は税引前中間純損失（△）	110,202	△11,332
減価償却費	4,769	6,851
賞与引当金の増減額（△は減少）	56,833	55,377
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	156	63
契約負債の増減額（△は減少）	9,917	△3,832
受取利息及び受取配当金	△242	△1,460
支払利息及び社債利息	2,121	2,110
有形固定資産売却損益（△は益）	△12,798	△347
売上債権の増減額（△は増加）	15,999	2,678
棚卸資産の増減額（△は増加）	24,110	△10,235
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,231	△23,663
未払消費税等の増減額（△は減少）	7,806	△30,435
その他	△8,593	8,396
小計	208,051	△5,829
利息及び配当金の受取額	138	2,631
利息の支払額	△2,133	△2,110
法人税等の支払額	△870	△35,208
法人税等の還付額	1,423	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	206,609	△40,518
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300,000	△300,000
定期預金の払戻による収入	-	300,000
有形固定資産の取得による支出	△12,694	△4,635
有形固定資産の売却による収入	20,980	347
敷金及び保証金の差入による支出	△5,000	△67
敷金及び保証金の返還による収入	510	5,670
その他	27	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△296,176	1,314
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	231,000	180,000
長期借入金の返済による支出	△119	△119
社債の償還による支出	△50,000	-
配当金の支払額	△520	△26,038
財務活動によるキャッシュ・フロー	180,360	153,843
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	90,792	114,639
現金及び現金同等物の期首残高	669,508	465,959
現金及び現金同等物の中間期末残高	760,301	580,599

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

当社は車載電装品販売・取付けを行うナビ男くん事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。